

## 本防災計画の主な特徴

- ① 徹底した出火防止策を行う。  
持ち込み可燃物量を抑える。  
不審行動の検出。
- ② 早期の火災覚知。
- ③ 初期消火対策として、消火器の他、  
大・小天守全館にスプリンクラーの設置を行う。
- ④ 入場者数の管理を行い在館者を適切な値に制限する。  
大天守には避難用階段を付加し、避難時間を早くする。
- ⑤ 避難施設をわかりやすい配置とし、避難の誘導動線も明瞭化する。
- ⑥ 大天守では自然排煙を行い、かつ上階への煙侵入防止策を付加する。
- ⑦ 急勾配・高齢者を想定した歩行速度。  
避難時間 < 煙暴露限界時間  
表階段の遮煙区画
- ⑧ 逃げ遅れ者対策を講じる。
- ⑨ 天守の外に24時間対応可能な防災拠点  
を設ける。
- ⑩ 消防隊の進入経路を確保する。

避難対象人数：2500人

各階在館者数(各階「滞在者数」を均一)

5階	417人
4階	417人
3階	417人
2階	417人
1階	417人
地階	417人

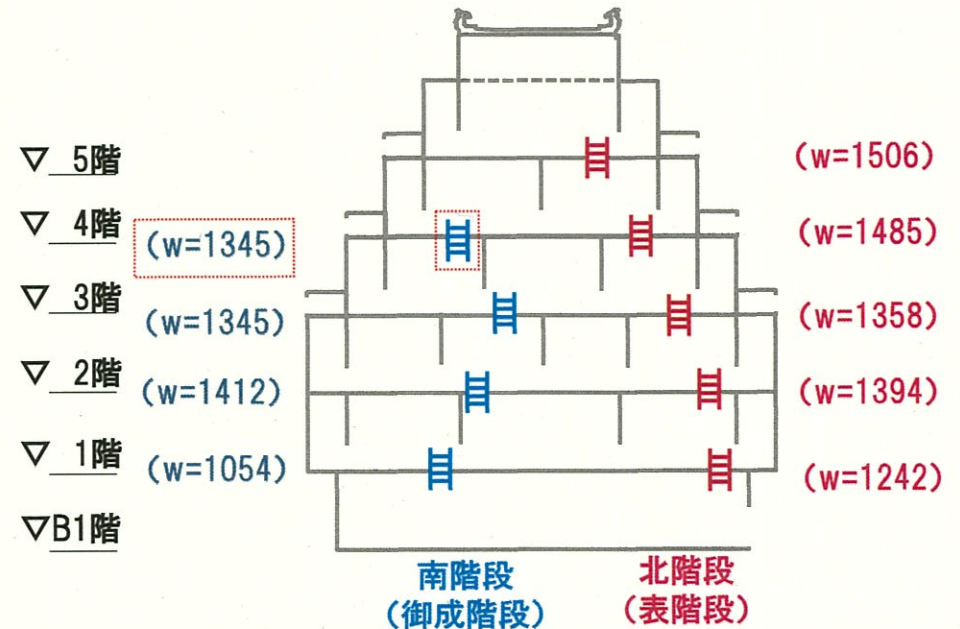
大天守 (計 2500人)

各階在館者数(各階「在館者密度」を均一)

5階	136人
4階	227人
3階	406人
2階	762人
1階	762人
地階	207人

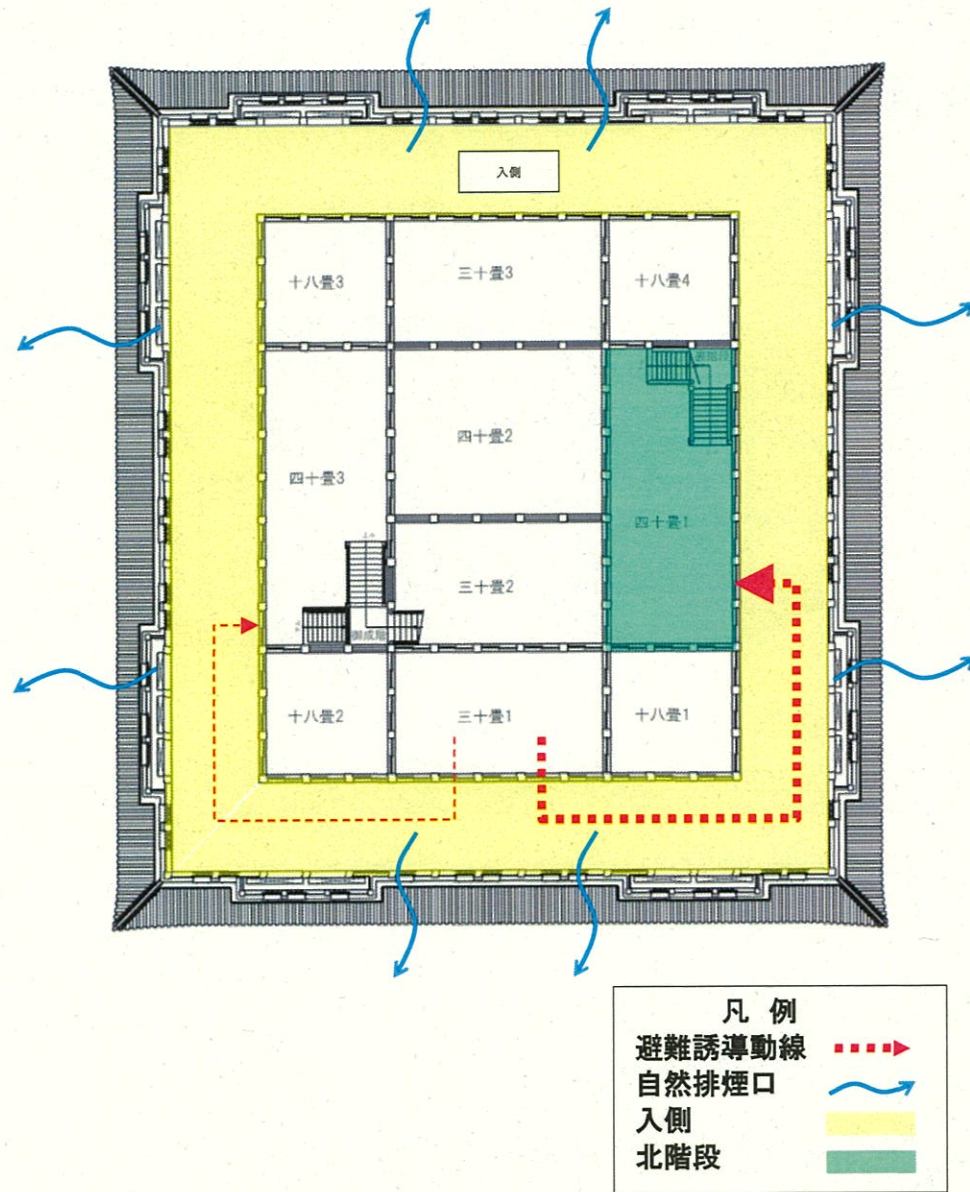
大天守 (計 2500人)

階段系統図

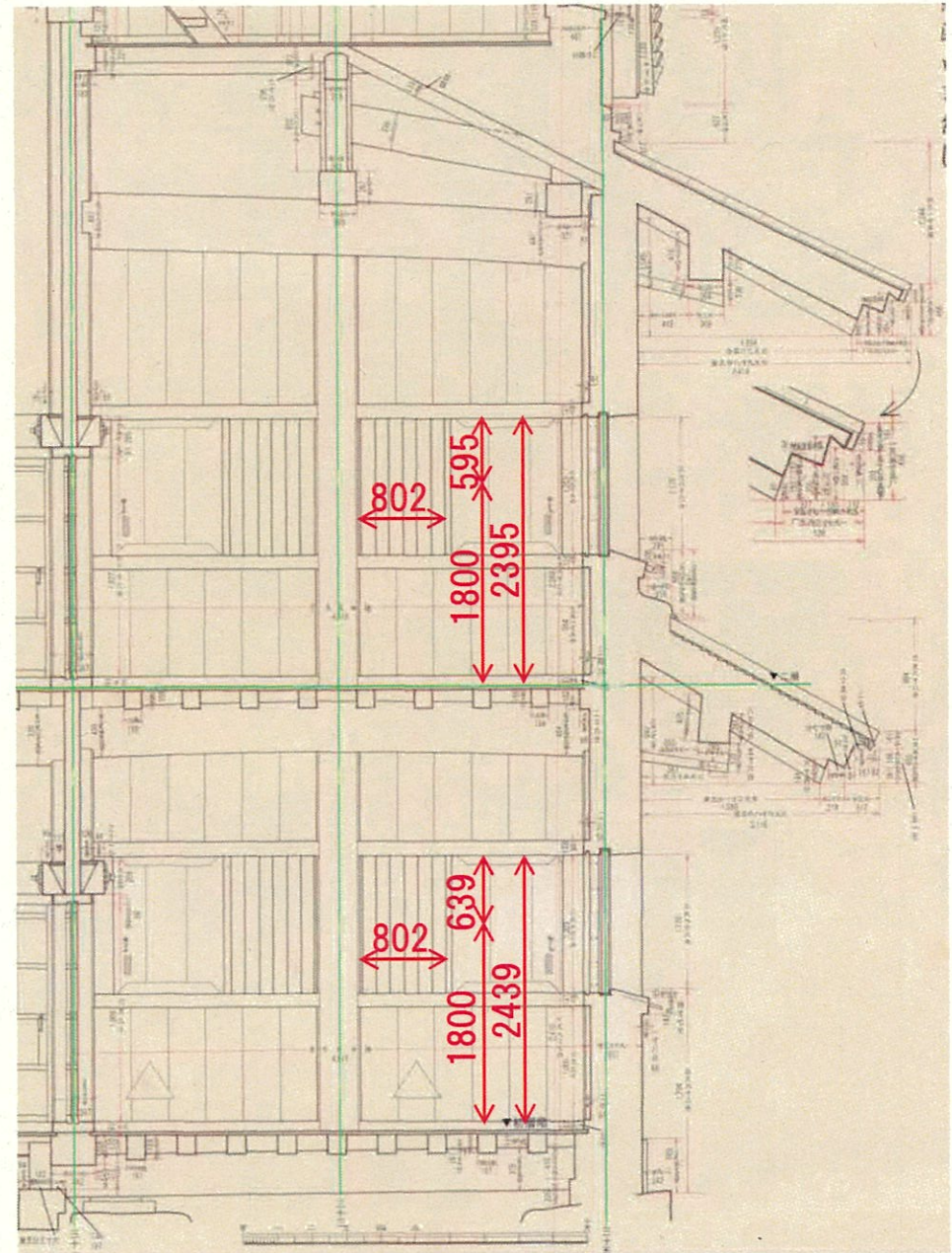


≡ ≡ : 史実に基づく階段 (有効幅員[mm])  
≡ : 復元時に増設する階段 (有効幅員[mm])

# ⑤ 避難施設の配置と、避難の誘導動線の明瞭化

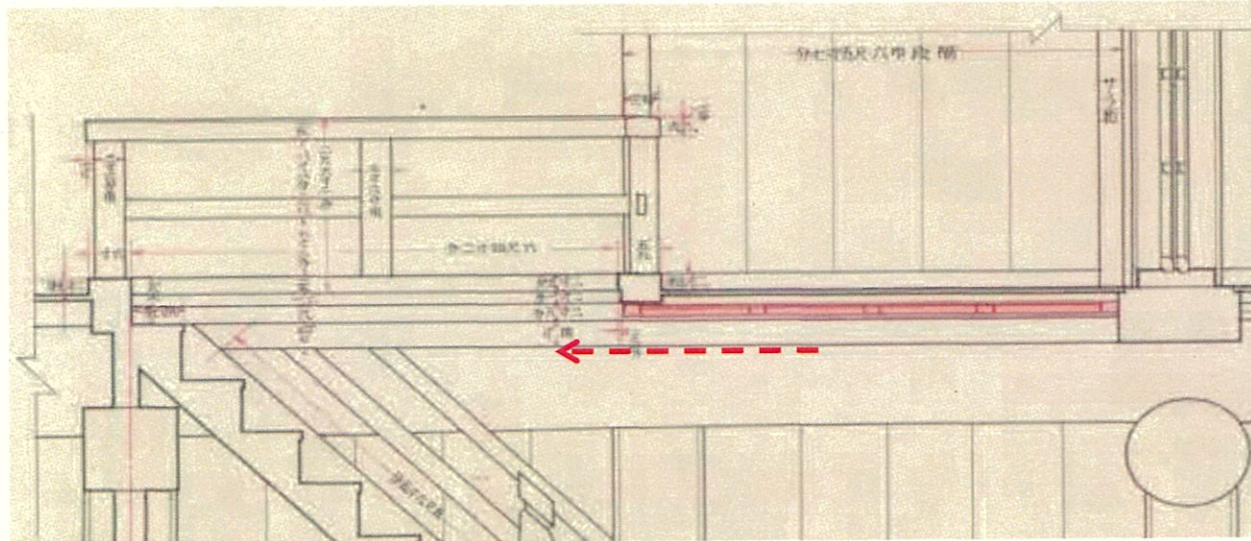


大天守 2階平面図



## ⑥自然排煙と、上階への煙侵入防止策

### 煙の上昇を防止する階段床開口の閉鎖板戸の活用

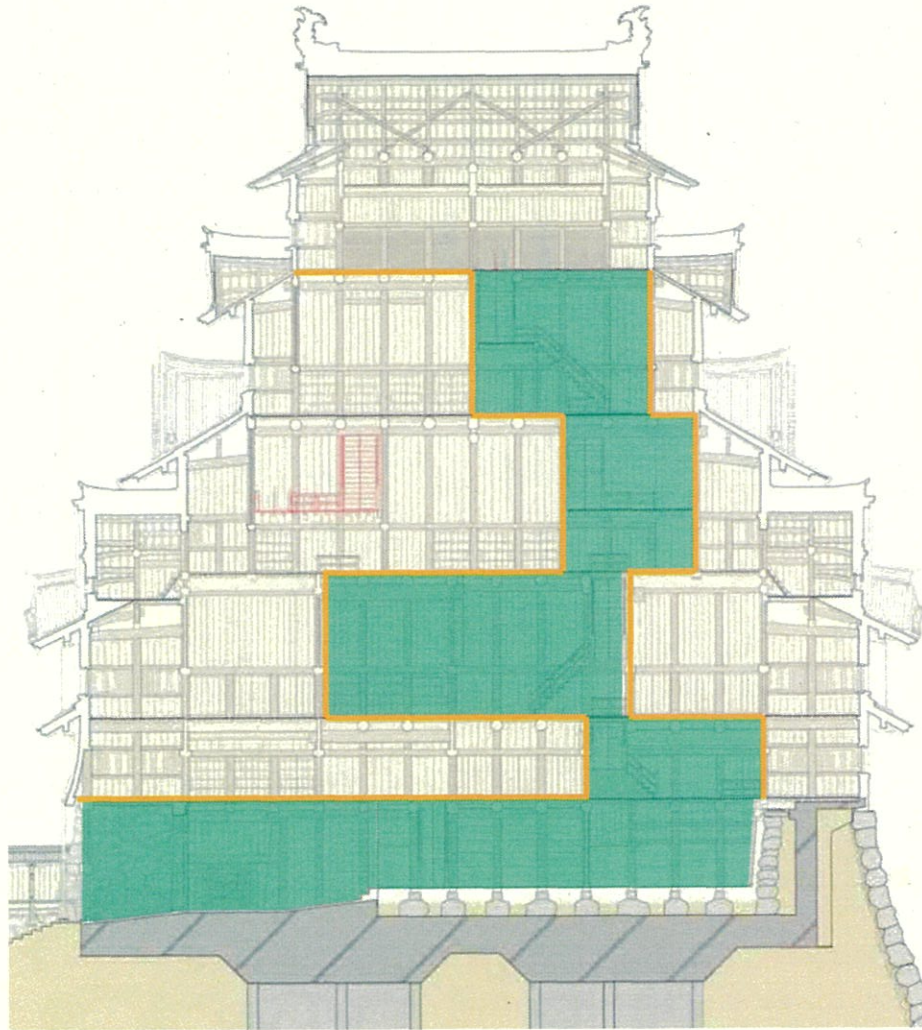


#### 階段の繰出し板戸

昭和実測図  
階段詳細図 (部分) 縦断面図

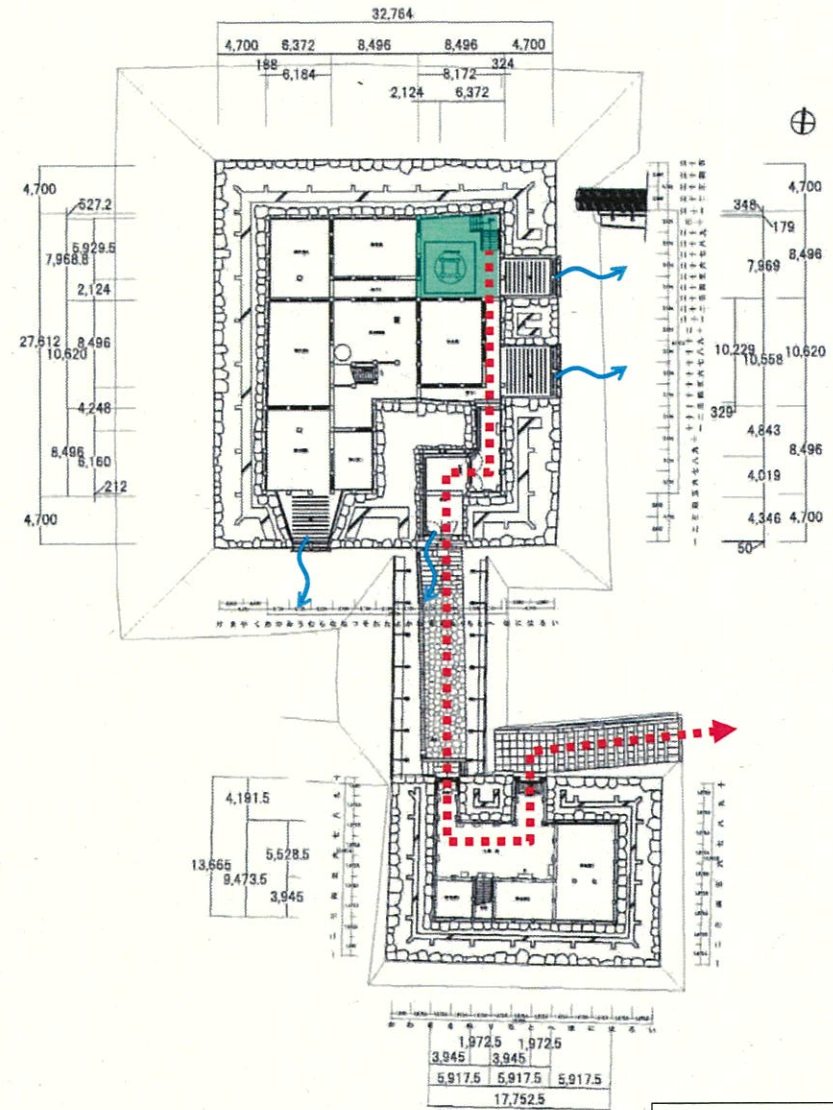


閉鎖イメージ



北階段の区画を示す

断面図

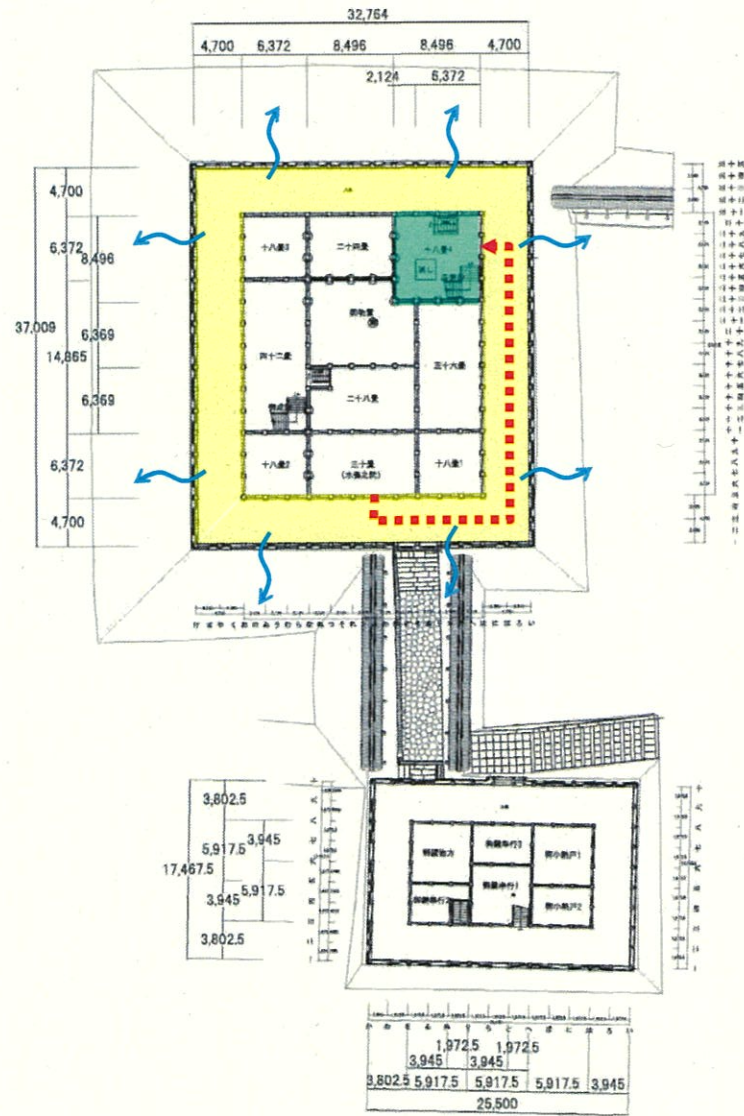


地階平面図

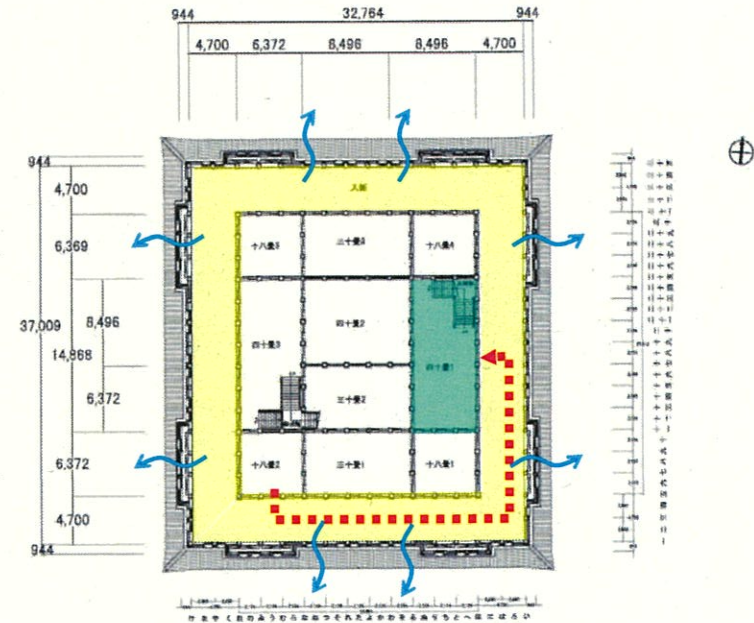
- 凡例
- 避難誘導動線 ■■■■▶
  - 自然排煙口 ~~~~▶

避難誘導動線計画図(断面図・平面図)

# ⑦ 表階段の遮煙区画



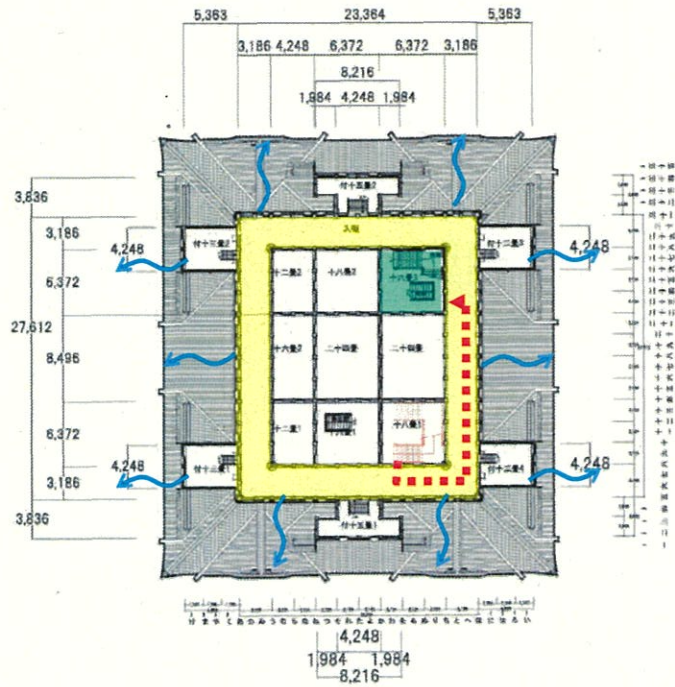
一階平面図



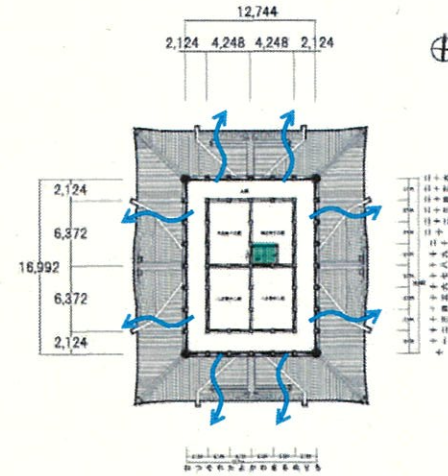
二階平面図

- 凡例
- 避難誘導動線 →
  - 自然排煙口 ~
  - 入側
  - 北階段

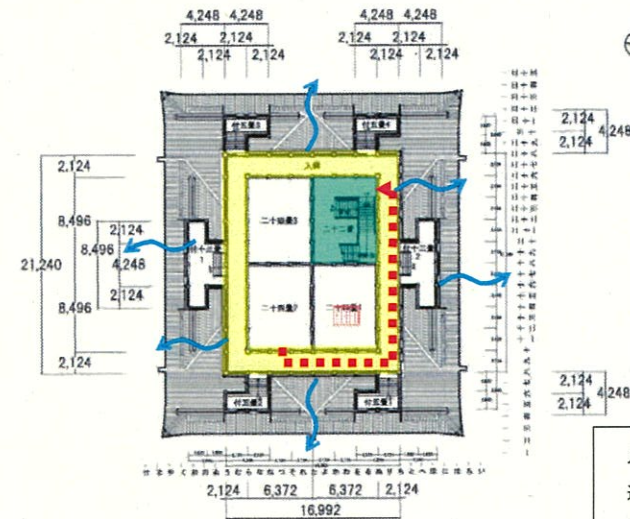
# ⑦ 表階段の遮煙区画



三階平面図



五階平面図



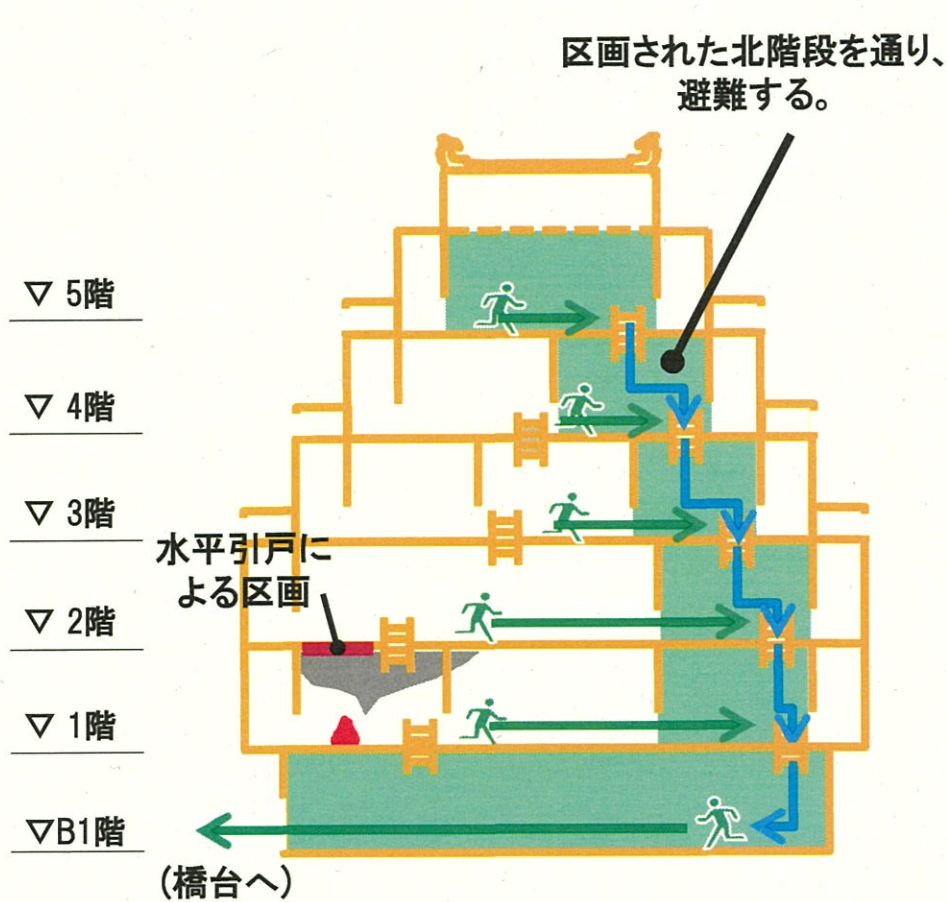
四階平面図

- 凡例
- 避難誘導動線 ■■■■▶
  - 自然排煙口 ~~~~~▶
  - 入側
  - 北階段

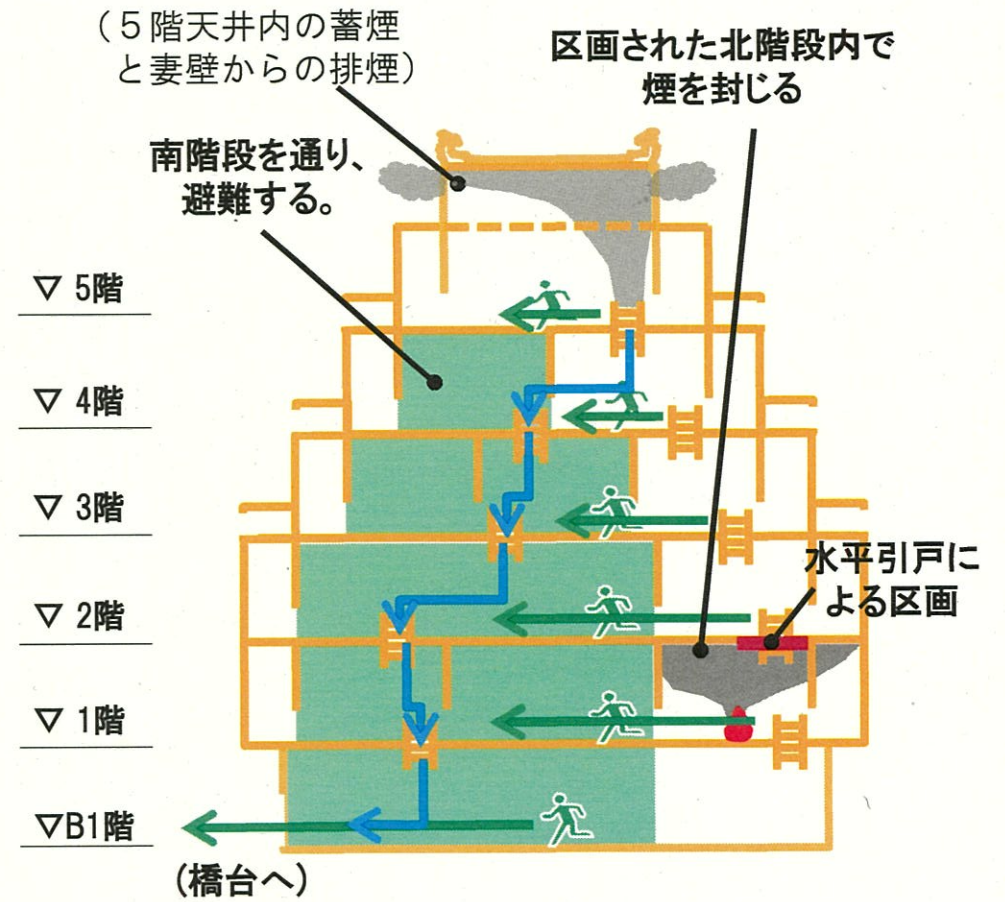


レベル4

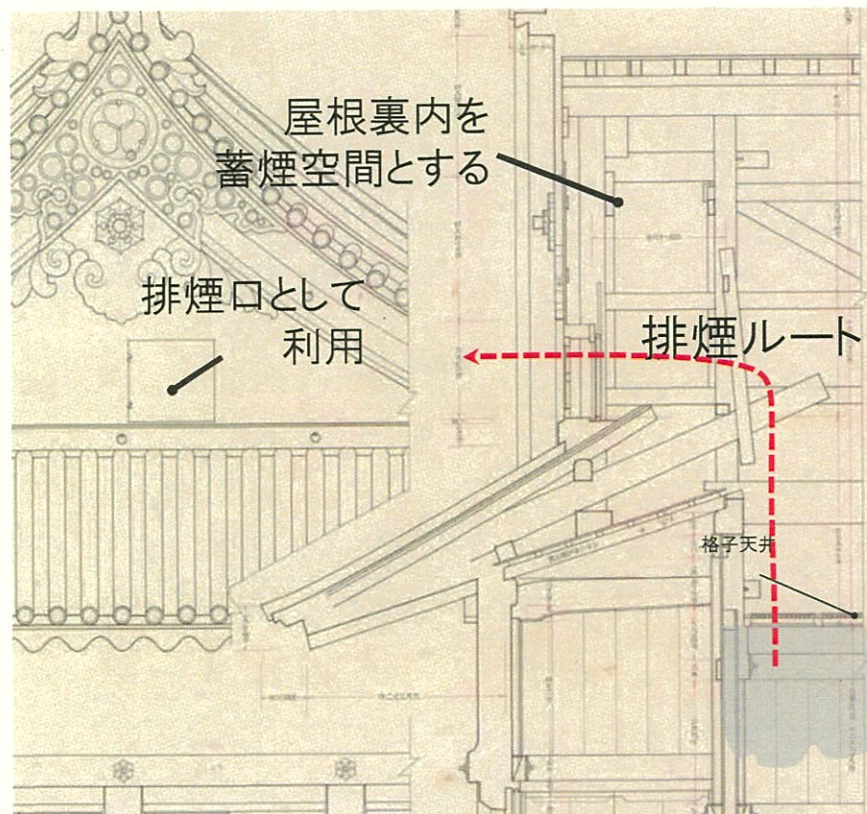
安全な避難経路の確保



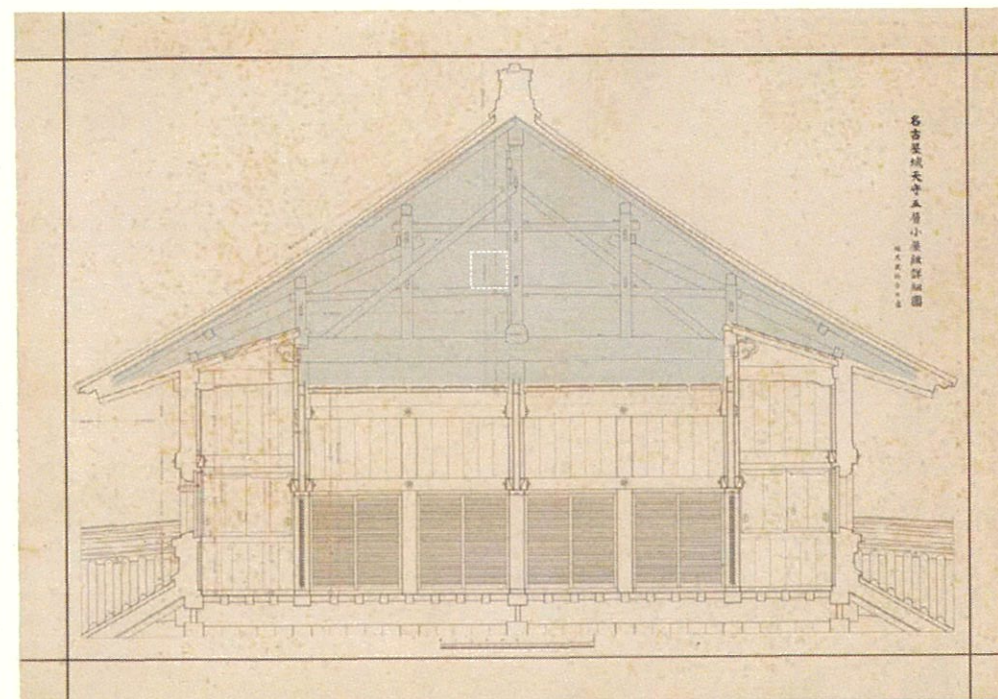
北階段以外で出火した場合  
(北階段を安全区画とする)



万が一、北階段で出火した場合  
(北階段を煙道とみなし、封鎖する)



昭和実測図  
「天守五階南妻破風姿及断面詳細図」より



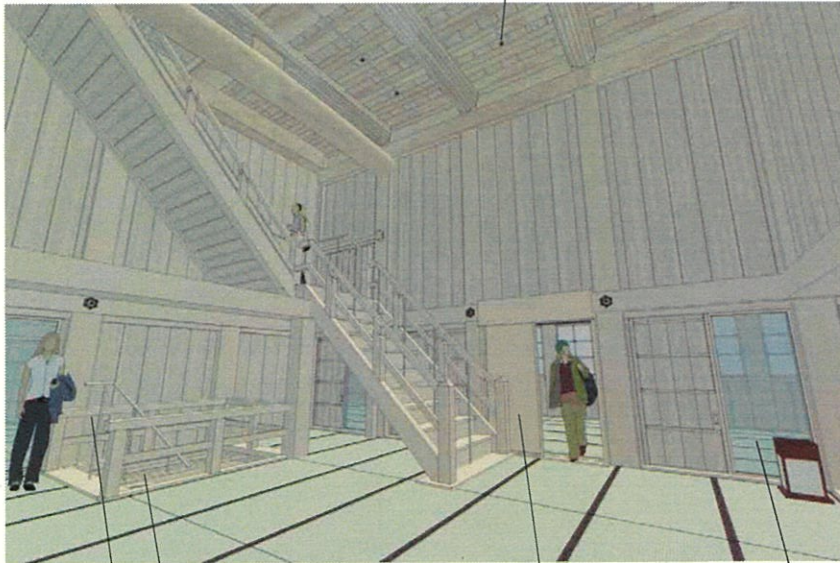
大天守五階断面図

昭和実測図  
「名古屋城天守五層小屋組詳細図」

## 北階段(避難用階段) 2階 内観イメージ

長押下を史実に忠実に壁、板戸で区画する場合

スプリンクラー設置(全館)



床開口部に遮煙用の水平引戸設置  
長押下を史実通り壁または板戸とした場合

常開(感知器連動)の開口部

長押下のガラスは平時は板戸の中に隠蔽



付加手摺に照明内蔵

照度シミュレーション

# ⑧ 逃げ遅れ者対策

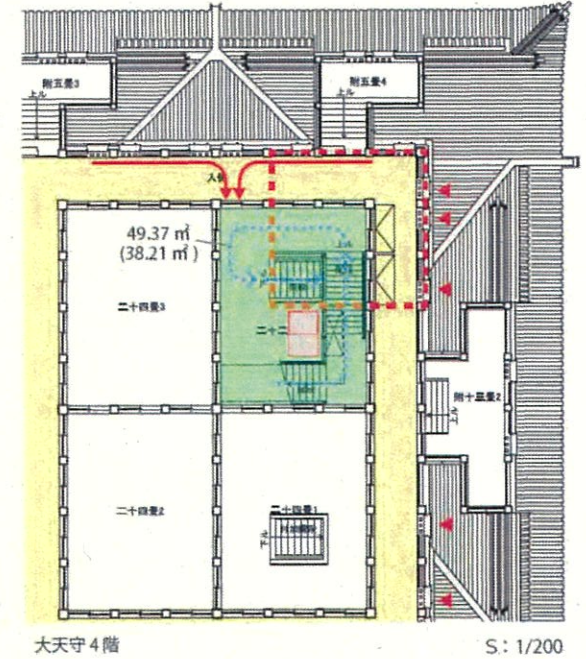
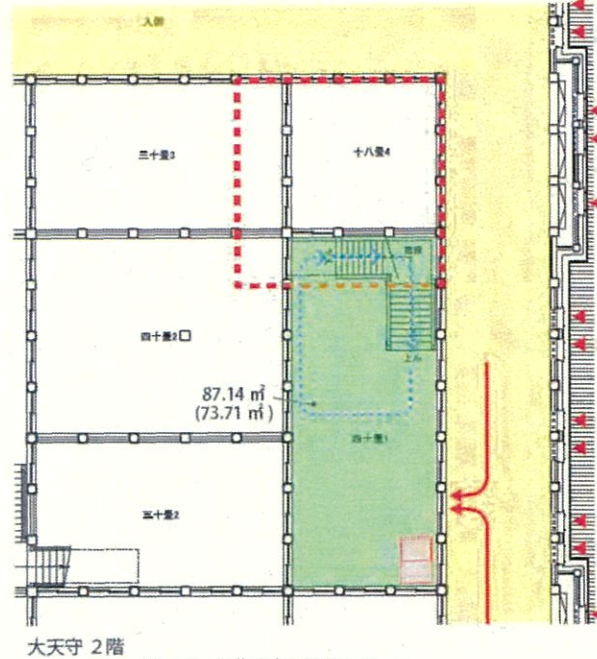
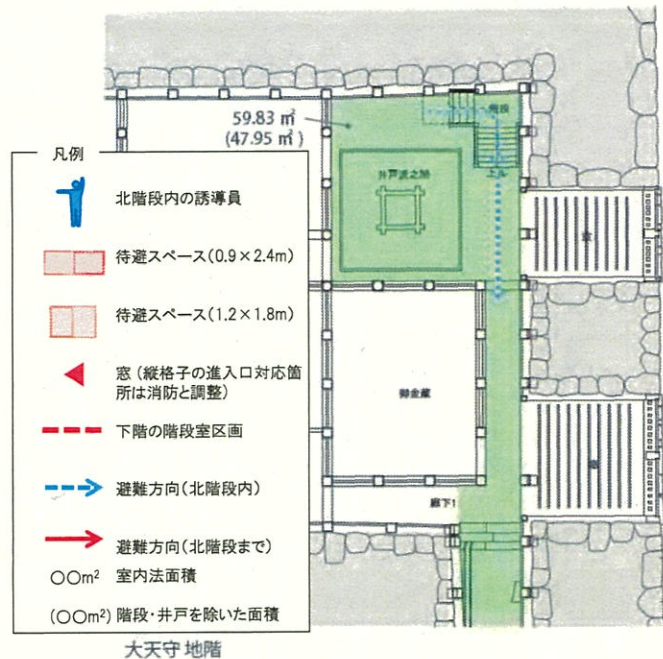
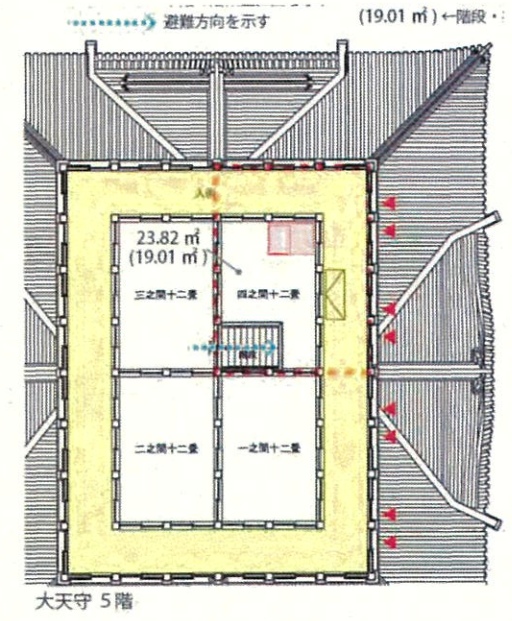
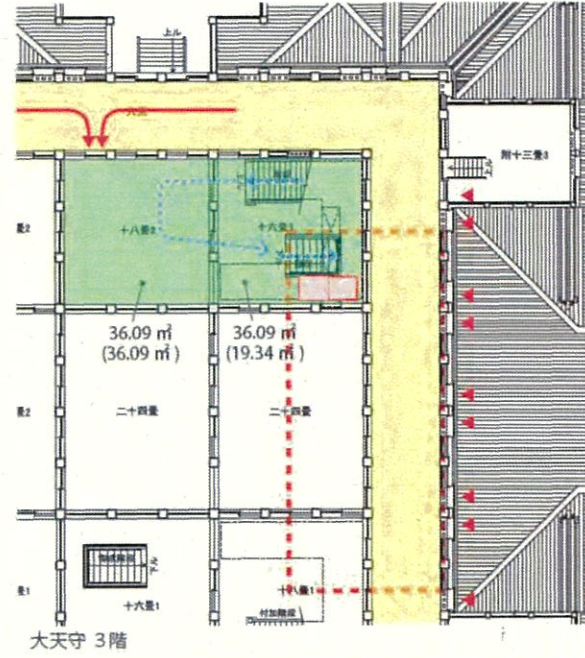
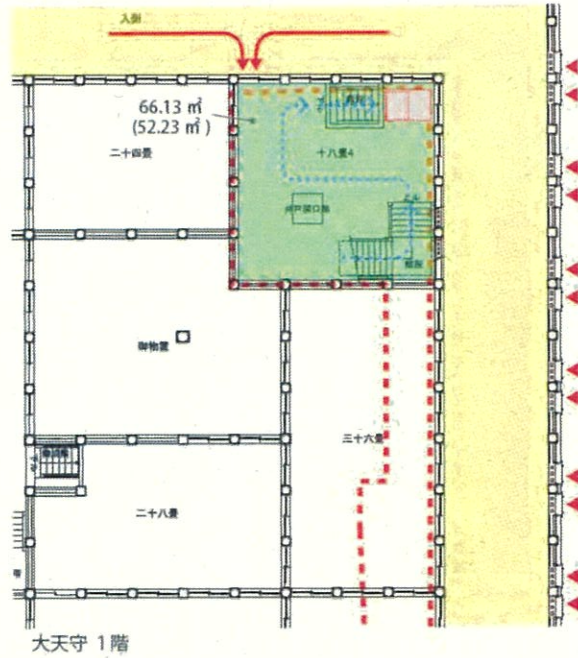
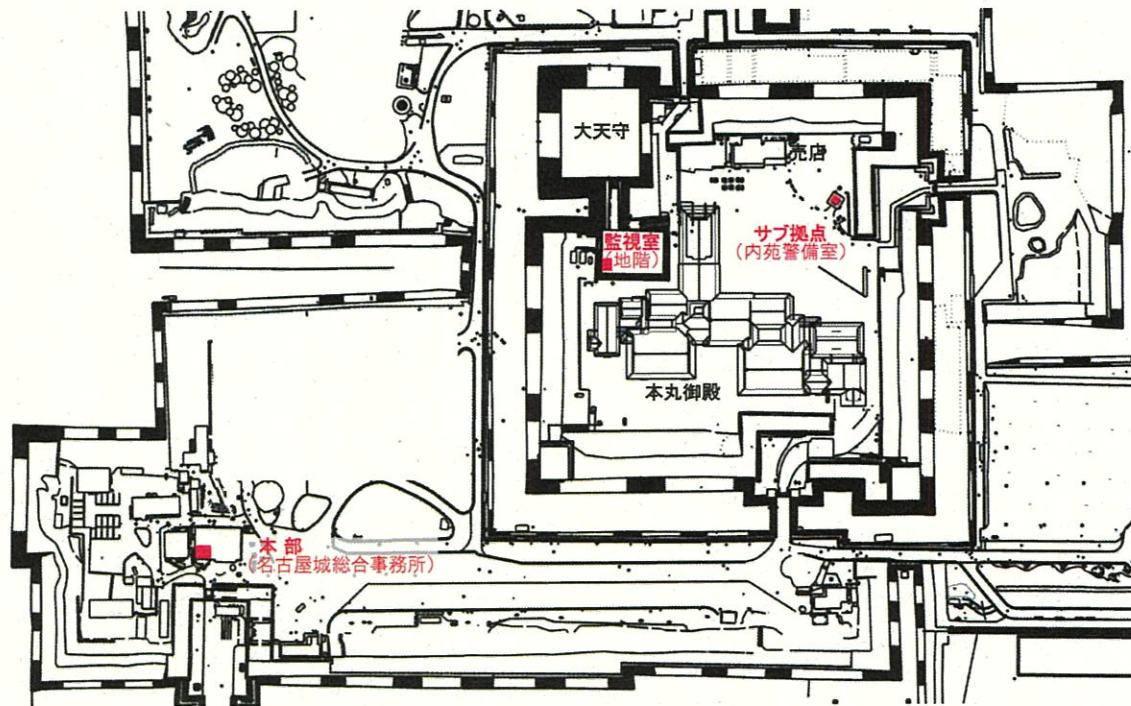
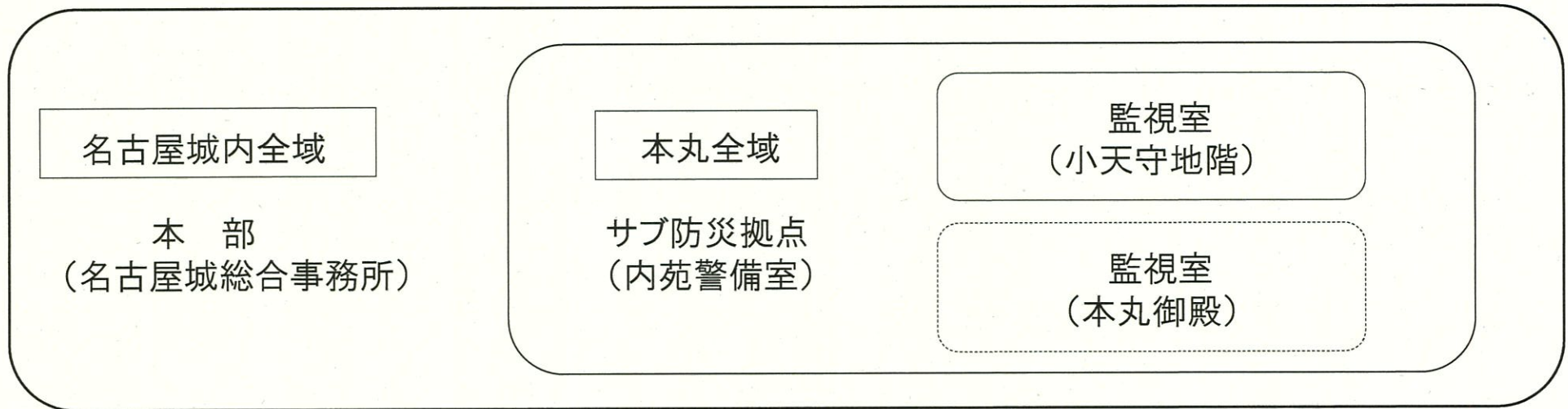


図-5.8 北階段内の待避スペース



避難補助具例(非常用階段避難車)

(エイ・エヌ・エス株式会社)



各防災拠点の配置

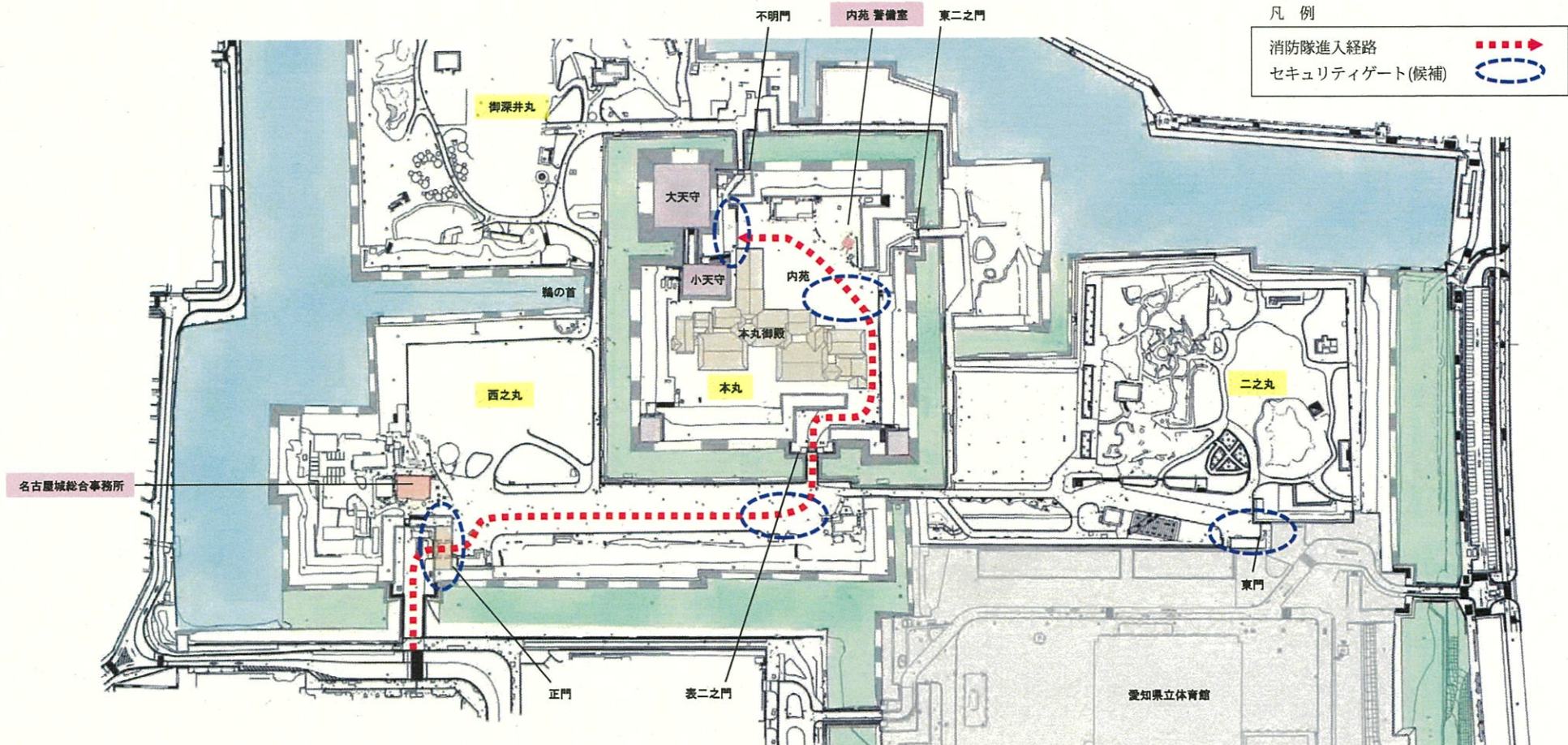
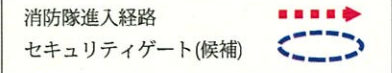


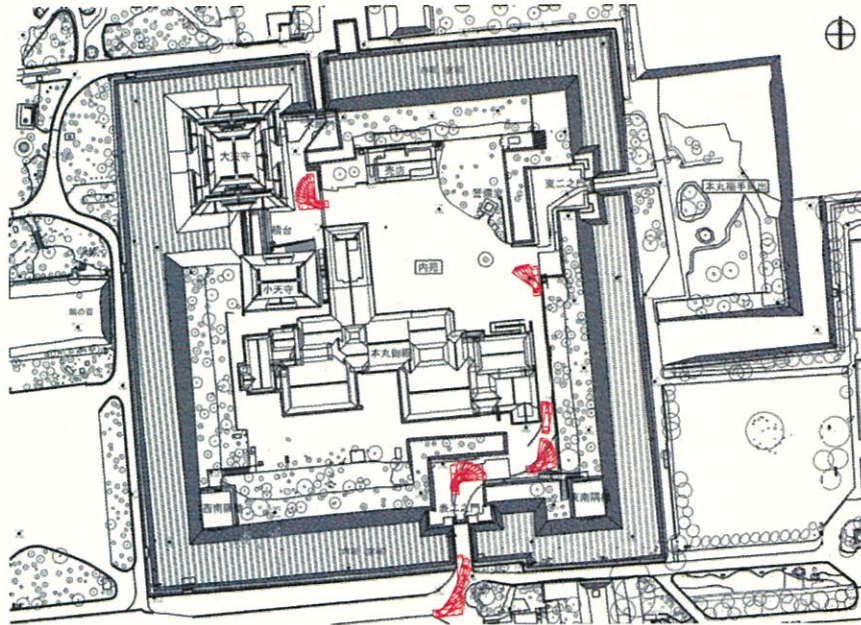
正門



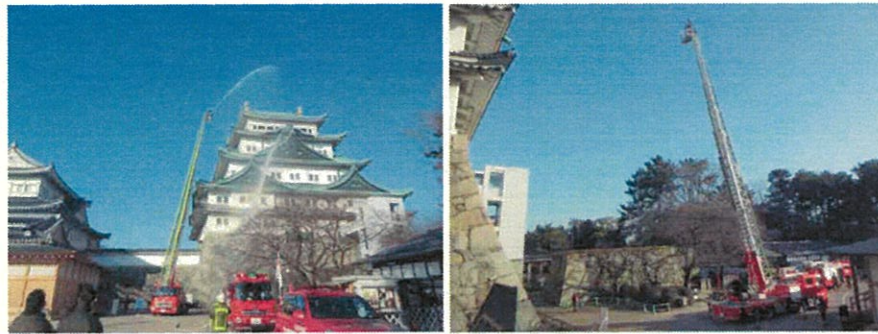
表二之門 (はしご車車高: 3600mm)

凡例

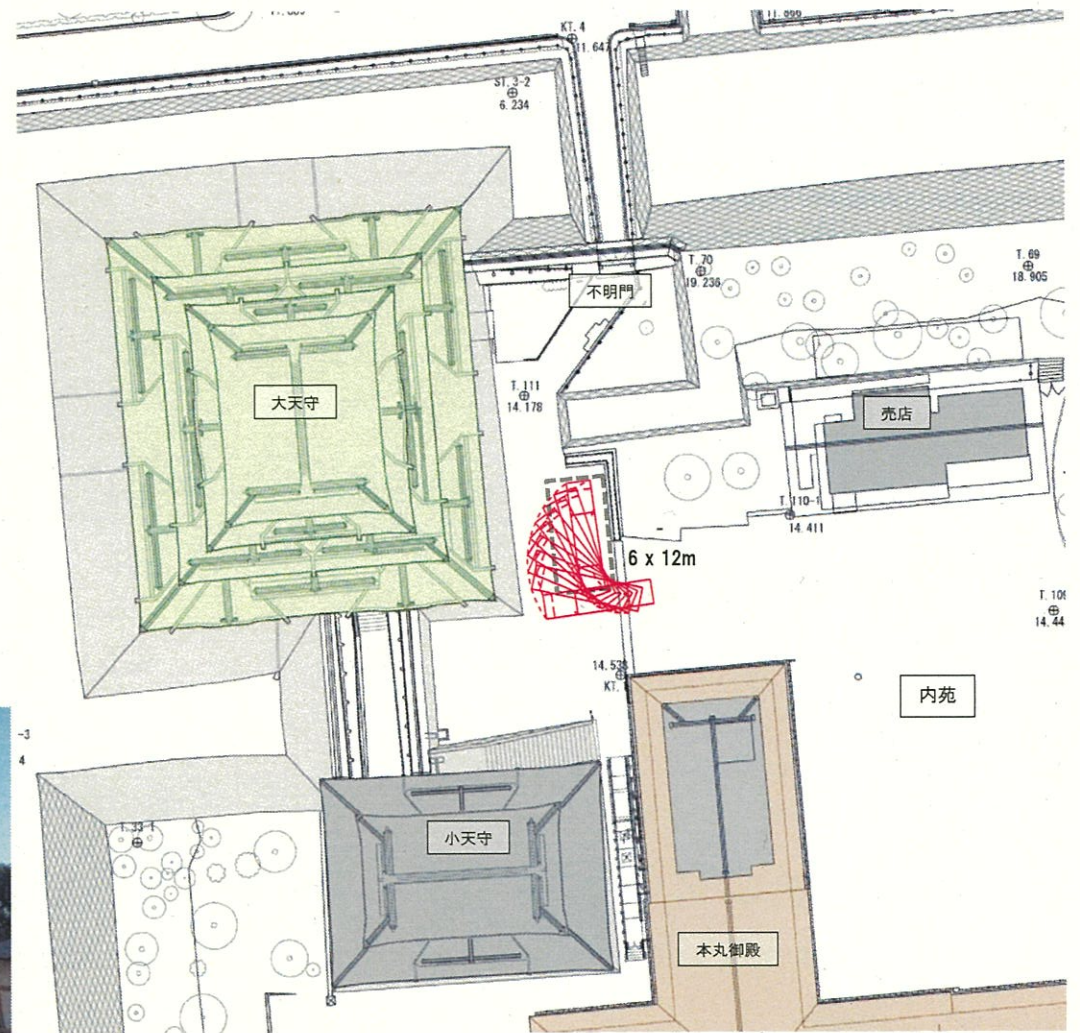




本丸・内苑配置図



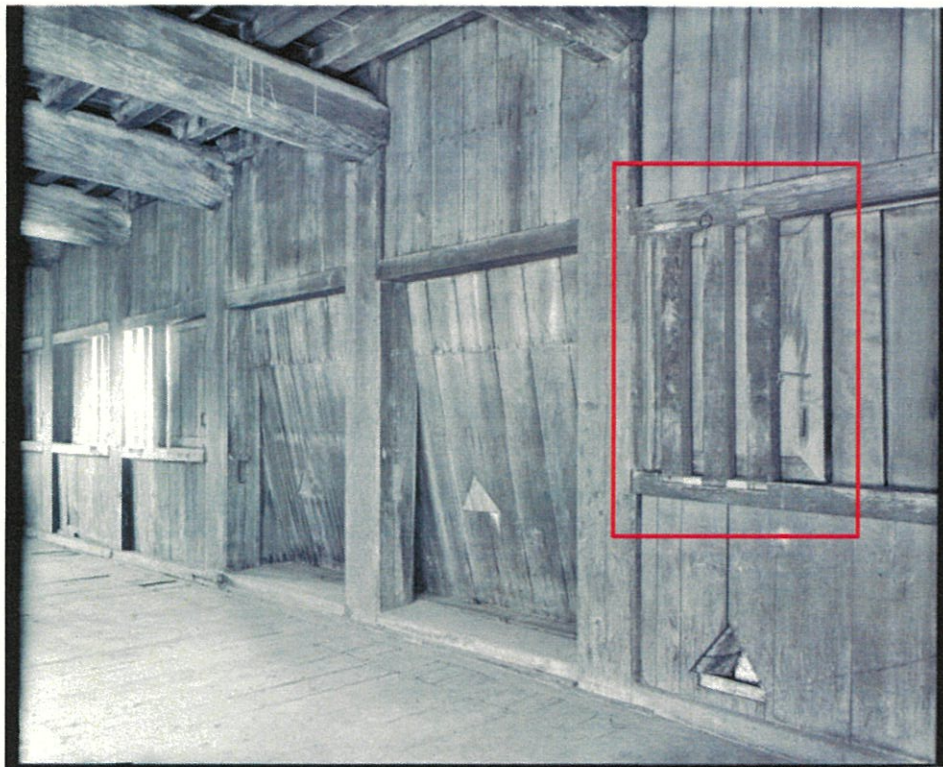
文化財防災デーの消防訓練



消防車寄付き位置



## ⑩ 消防隊の進入経路



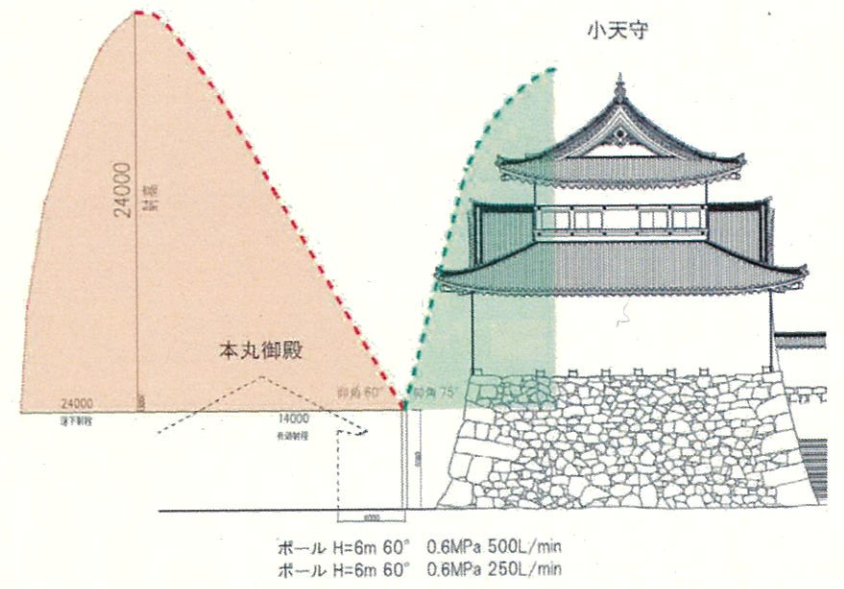
ガラス乾板写真「天守閣一階内橋台上南側の石落及び鉄砲(焼失)」より





「平成3年3月30日建設省住指発第128号 地方公共団体が文化財として指定した伝統建築物に対する防火及び構造安全性評価指針」

(3) 伝統建築物の評価指針  
 3) 近隣への延焼防止  
 才 隣接建築物が非常に近接している場合等で、(略)、放射受熱が10Kw/m2以下とすることが相当に困難な場合には、屋外用(屋根、壁、窓、入口)のレンジャー設備を設ける。



放水銃 配置図